

平成27年度 第1回西伊豆町立文教施設等整備委員会

- 1 開催日 平成27年6月29日(月) 午後7時から午後8時45分
- 2 場所 保健センター2階 会議室
- 3 出席者 委員は別紙のとおり(欠席者なし)
藤井町長、宮崎教育長、高木事務局長、山本係長、端山、江畑
- 4 報道 なし

事務局

皆さんこんばんは。お疲れのところ夜間の会合にお集まりいただきまして、ありがとうございます。定刻前ですが、皆さんお揃いになりましたので、只今より平成27年度第1回西伊豆町立文教施設等整備委員会を開催させていただきたいと思っておりますが、その前に委嘱状の交付を行いたいと思っております。町長からの交付につきましては、代表者1名とさせていただきます。ほかの委員の皆様につきましては、各テーブルに事前に配布させていただきましたので、ご了承願いたいと思っております。なお、新たに委員になられた方の任期につきましては、前委員の在任期間になりまして、本日から平成28年6月30日となります。

では、藤井町長より交付をお願いしたいと思います。委員を代表しまして田子区長会長様お願いいたします。

委任状を交付

事務局

それでは改めまして、平成27年第1回西伊豆町立文教施設等整備委員会を開催させていただきます。私は、教育委員会事務局長を務めさせていただいております、高木と申します。よろしく申し上げます。では、第1回の開催にあたりまして藤井町長よりご挨拶を申し上げます。

町長

みなさん、夜分お疲れのところご苦労様です。今回は27年度の第1回目の文教施設等委員会でございます。前回11月7日に開催しました。前任の方々を中心に、統合等につきましてご意見を聞きました。その後その意見を参考にしながら、各学校のPTAの方々との懇談会を進めて、統合についての意見交換をいたしました。そういう中で、父兄の方々には、統合はやむを得ないだろうというご意見をいただきました。その中には心配することもありましたが、大卒では賛成していただいたと私は認識しております。議会にも諮りまして、町の方針を最終的には出したいということで、町といたしましては、平成29年4月1日で西伊豆町の中学校を統合したいという方向で進むことを確認いたしました。平成29年に田子小学校が複式学級になるということ懸念していたわけですが、小学校の複式学級よりも、賀茂中学校の29年度の新入生が7人しかいないということの方が深刻ではないかと判断しました。小学校の複式学級につきましては、どうしても学力が落ちてしまうとか、学校の授業に支障が起

こるということであれば、安易かもしれませんが、職員を一人採用して対応すれば何とか解消できるという判断をしまして、一学年に7人しかいないということを先に解消しなければいけないと思い、中学校からの統合から先に始めたらどうかと町の方針としては出しましたが、皆様方の意見を聞き、住民、PTAの方の意見を聞きながら最終的に決定していきたいと思います。ほぼ町の方針は平成29年4月1日に統合する方向で進めたいと思っております。ぜひ皆様方に忌憚のない意見をいただいて、この中学校の統合に向けて進めていきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

事務局 ありがとうございます。続きまして、委員の方の自己紹介に入りたいと思ひます。本日初めての方もおられますので、会議資料の1ページにあります、名簿順に自己紹介をお願ひしたいと思ひます。それでは仁科区長会長さんからお願ひしたいと思ひます。

事務局 続きまして、次第の5「委員長・副委員長の選任」ですが、今回、昨年度までの委員長と副委員長が辞められたことから、委員会規則により改めて、委員長及び副委員長各1名を委員の中から互選することになりますが、どのようにいたしましょうか。皆様にお諮りさせていただきたいと思ひます。

委員 事務局案があればお願ひします。

事務局 事務局案でというお声がありましたので、事務局から推薦させていただいてもよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

事務局 それでは、事務局案を申し上げます。委員長を区長連絡協議会の会長でもある仁科地区の会長さんにお願ひをしたいと思ひます。副委員長に町内の校長会の会長であります、田子小学校長にお願ひしたいと思ひますが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

事務局 ありがとうございます。それでは委員長に仁科区長会長、副委員長に田子小学校長ということでお願ひしたいと思ひます。では、委員長は前の席へと移動していただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。それではここで新しく就任されました、委員長に一言ご挨拶をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

委員長 みなさんこんばんは。ご指名をいただきましたので、不慣れですが、よろしくお願

いします。皆様のご協力お願いします。

事務局 ありがとうございます。それでは議事に移りたいと思いますが、これからの議事進行につきましては、委員会規則第5条第3項の規定によりまして、「委員長は、会務に総理し」とありますので、委員長に会議の進行をお願いしたいと思います。

委員長 それでは、議事に入りたいと思います。議題の1、今までの協議経過について事務局より、説明をお願いします。議事ごとに質問の時間を設けますので、ぜひともより良い意見をお願いします。

事務局 それでは、会議資料の2ページをご覧いただきたいと思います。「(1) 今までの協議経過について」ご報告させていただきます。「(2) 今後の子どもの数の推移」も現状の説明になりますので、合わせて説明させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

委員長 特にありませんので、1、2合わせて報告をお願いします。

事務局 では、まず「(1) 今までの協議経過について」ですが、内容につきましては、事前にご確認いただいていると思いますが、新しい委員さんもおられますので、主なところを説明させていただきたいと思います。まず平成26年8月16日になりますが、町議会の文教施設等整備検討特別委員会から町長に対しまして、学校統合等についての意見書の提出がありました。内容につきましては、記載の通りでございますが幼稚園、保育園は認定こども園として1園に統合し高台に新設ということです。小学校は、統合についての検討、複式学級について保護者への説明等。中学校については統合について検討等の3点ございました。次に同年、11月7日の第3回のこの委員会におきまして、園・学校の今後のありかたの方向性について確認がされました。確認された事項につきましては、記載の通りでございますが、一つ目として、幼稚園・保育園・認定こども園は統合して安全な場所に移転。小学校は、複式学級の解消を図る2校又は3校に統合と安全な場所へと移転。中学校は、町内2つの中学校を統合。以上の3点につきましては、この委員会でもまとめられた整備の方向性であります。次に保護者との意見交換会での状況ですが、平成27年2月18日、田子小学校の今後のあり方について、意見交換をおこないまして、保護者のご意見といたしましては、複式学級の解消を図り、統合をすべきという意見と、地域が寂しくなるなどの理由により、地域に学校を残したいという意見が半々でした。次に同年5月13日になりましたが、賀茂小学校及び賀茂中学校の今後のあり方について、保護者との意見交換会を開催いたしまして、参加された方のご意見といたしましては、自分の子どもが卒業するまでは統合してほしくないなどの統合に反対の意見もありましたが、ほとんどの方が早期の統合を望んでおりました。次に6月4日に仁科小学校及び西伊豆中学校の今後のあり方について、意見交換会を開催いたしまして、こちらでは統合に進め方についての要

望はありましたが、参加者全員が早期の統合を望んでおりました。あと、こちらには記載してありませんが、先週の22日に町長と教育委員会委員による総合教育会議がおこなわれ、学校統合に関する意見交換がおこなわれました。以上が(1)の今までの協議経過になります。次に、3ページをお願いします。「(2) 今後の子どもの数の推移について」ですが、こちらは、平成27年5月1日現在の児童・生徒等の人数を基に推計してございます。まず、最初に5ページに推計基礎データの表がありますが、こちらの数値を基に推計をしてございます。なお、こちらの表で一番上の少し薄いですが、色塗りされている部分に参考として載せてありますが、今年度、6月1日時点で母子手帳を取得された方の数値になりました。12月13日出産予定の方まで西伊豆町全体で8人しかいないということでありまして、ただ、最新情報では仁科地区が2人増えて、1月14日出産予定の方までとなり、町全体で10人となっております。では、3ページに戻っていただきまして、こちらは小学校の児童数の推移になります。今年度生まれる子どもが1年生になった時までを推計してございます。一番上の表が仁科小学校になりますが、27年度と比較しまして、7年後の34年度では、現在の半分程度になるものと思われまして、次に、田子小学校ですが、色塗りされている部分が複式学級になる可能性があるところでありまして、現状のまま推移すると29年度から複式学級が出現することになります。なお、複式学級となる基準ですが、小学校の場合、1年生を含める場合は2学年合わせて8人以下、1年生を含まない場合は16人以下となっております。ただ、静岡県独自の措置として、2つの学年を合わせて15人か16人の場合は、複式学級解消のための臨時講師を配置していただけることとなっております。なお、この措置はいつまで続くかは未定ということでありまして、次に、賀茂小学校ですが、34年度の2・3年生が、複式学級になると推測されます。では、次の4ページの中学校の生徒数の推移ですが、今年度生まれる子どもが中学1年生になる40年までを推計してございます。一番上の表が西伊豆中学校になりますが、32年度までは2クラスになる学年もありますが、33年度以降は全ての学年が1クラスになると推計されておりました。40年度には、現在の半分以下になると思われまして、次に、賀茂中学校ですが、29年度のところを見ていただきますと、1年生が7人だけと極端に少なくなっており、全生徒数も50人を割ってくる状況になります。平成39年度には、1学年が10人以下となりまして、その後も更に減るものと思われ、40年度には、現在の3分の1程度となり、全学年が一桁の生徒数になるものと思われまして、なお、現在の賀茂中学校の部活動は男女ともバスケットとソフトテニス部だけで、文化部はない状況にあります。最後に、一番下の表が2つの中学校を合わせたものになりますが、仮に統合しても37年度からは、全ての学年が1

クラスになり、40年度には、現在の賀茂中とほぼ同数の生徒数になってしまうものと思われます。以上で、簡単ですが、「(1) 今までの協議経過について」と「(2) 今後の子どもの数の推移」の説明とさせていただきます。

委員長 ありがとうございます。ただいま事務局より、1と2の説明をしていただきましたが、1では今までの経過をみて、統合という話の大変さが表れています。2についても、この表を見ますと西伊豆町のみならず、賀茂地区全体の傾向として、こういう状況が発生しているように感じます。1と2のことにつきまして皆様からご意見をいただけたらと思います。

委員 校舎を仁科に置くのか賀茂に置くのか、どちらになるのですか。

町当局 一応今想定しているのは、西伊豆中学校の校舎を使いたいと思っております。できれば浸水域ではないところ、賀茂小中へと全て持っていけばいいのですが、そうしますと費用的にもだいぶ掛かってしまいます。今の西伊豆中学校の3階ないし屋上に逃げれば、レベル2の津波にも対応できるという想定が県からでていますので、中学生であればある程度の避難が出来るのではないかという意味で、できれば校舎は西伊豆中学校を使いたいと思っております。

委員 区長会で話し合いをもちまして、中学校の統合には賛成であるという意見が大半を占めていました。ただし、できれば宇久須へと来てほしい、安心安全が一番だという意見でした。

委員 今現在の西伊豆中学校の通学路はどのようになっているのですか。

事務局 現在の通学路につきましては、警察の方からもスクールゾーンとして、明確な整備も必要だという指示も受けております。統合に合わせる形のなかで、整備をしていきたいと思っております。現状の中では、仁科車庫と築地バス停まで田子の中学生につきましては、行っているということになります。

委員 それで、29年に統合した場合もバスの停留所はそちらになるのですか。

事務局 そのあたりも、今後検討していくということで、なるべく近くへと行くことができればいいと思っております。

委員 中学校は西伊豆中学校に考えていると聞いていましたが、いずれ小学校も統合になると思うのですが、できたら小学校中学校は同じところにあった方がいいと思いま

す。そうなる小学校が仁科小学校に来たとして、将来的にやっていけるのでしょうか。

町当局 小学校、幼稚園保育園につきましては、中学校の統合に目途が付きましたら、また皆さんと話し合いたいと考えております。すべてを一緒にやるのも方法だと思いますが、この表を29年の西伊豆中学校は116人、仁科小学校は147人。合計約250人の生徒をいっぺんに運ぶということになると、バス等の対応が出来るのだろうかということを考えなければいけないという問題も出てきます。なので、緩やかに行った方がいいと考えております。

委員 将来的なことも考えながら、現在の西伊豆中学校へと移転すると考えているのですね。

町当局 そのあたりは、まだ案というものはありません。先に中学校の統合に目途が付きましたら、話し合いを進めるという方向でいます。

委員 小中一貫校という考えはないのでしょうか。

町当局 考えておりません。中高の併設ということは考えております。そうしなければ、県の方針の高校は1学年120人切った場合には、統廃合の対象なるという考えがあります。そういう中で、松崎高校は1学年100人切っております。県は特例ということで、松崎高校を統廃合の対象にしておりません。これは、長い期間続くとは保証がありません。もしも松高が統廃合の対象になりましたら、この町の父兄の方は困ると思います。中学校も大事ですが、高校の存続もあわせて考えていかなければならないとなりますと、中学校と高校を併設して何とかして存続を図るという方法の方法がいいのではないかと私は今のところは考えています。

委員 文部省は現在小中一貫校を進めております。町内の学校ならばやりやすいと思う。選択肢の一つに考えてみてはどうでしょうか。

委員長 ほかの意見はどうでしょうか。

委員 5月13日に賀茂小学校で意見交換会を行ったときに、参加人数は23人と非常に少なかった。私も該当していますので、交換会に行ったのですが、大半の人が、書面をもらってもあまり関心を持っていないという雰囲気でした。そしてその意見交換会が終わった後、町長の表明をみまして、29年という話を発表する前に賀茂小学校のPTAに説明をしてほしかったという声も上がっていました。

町当局 まだ決定ではありません。あれは新聞記者が書いたものです。私は新聞記者が取材

の時に言ったのは、私はコメントしません。あなたが一般質問で感じたことを書いてくれと、あの報道は、新聞記者が私と議員さんのやり取りを聞いて、判断して書いた文面です。私はまだ決定したわけでは無くて、今町の方向として、29年4月1日に統合を進めたいと。皆様方の意見を聞いて、それである程度了解を取ればそれで進めていきたいと思っております。7月13日からの各地区で住民説明会を開催して、ある程度の町の方向性をだして、最終的な決定をしていきたいと思っております。

委員 どうしても夜の会合には来られない人がいる。来られない人の中にも反対意見はあるので、学校を通してアンケート等を出してもらえないでしょうか。

委員 中学校の統合について、西伊豆中学校の校舎を使うと案をおっしゃったのですが、校舎の耐震構造はどうなのでしょう。賀茂中のほうは学び舎としての耐震強度はどうなのでしょう。あと生徒の移動に対する費用の関係は、どちらが移動した方がいいのかというのはどうなのでしょう。

委員長 西伊豆中学校のPTA会長さんはどうでしょうか。

委員 西伊豆中学校ですが、以前の田子と仁科が合併して、そのなかで心配ごとはありましたが、合併して数年経ちましたが、クラスが2クラス又は、1クラスでも30人くらいはいるというのは、子どもを教育していく中ではいい環境ではないかと。何年かやっていくうちに、田子地区の方と、仁科地区の方の交流も出てきているとおもいますので、個人的にはそのような流れで行ってもいいのかと思います。

委員長 事務局からの回答も含めながら、具体的に中学校の統合にたいする考え方というのに入った方が、より具体的な話し合いができるとおもいますので、事務局のほうよろしくをお願いします。

事務局 先に先ほどの耐震構造の質問の回答をさせていただきます。賀茂中学校は耐震基準を満たしております。西伊豆中学校の校舎につきましても平成14年に大規模改修をいたしましたので、基準は満たしております。通学費にいたしましては、概算であります。賀茂中学校に集めた場合は、定期代が800万弱となります。西伊豆中学校に集めたとすると、400万円弱となります。あくまで概算の数字となります。

委員長 それでは「(3) 中学校統合に対する町の考え方について」ですが。事務局より説明願います。

事務局 町の考え方につきましては、冒頭の町長の挨拶でも申し上げましたが、再度申し上げます。なお、先ほど申し上げました先日の総合教育会議の

中でも町の考え方をお示したところであります。まず、①の時期ですが、町内2校の中学校を平成29年4月1日に統合したいと考えております。次に、②の場所ですが、現在の西伊豆中学校の校舎を使用したいと考えております。次に、③の形態ですが、吸収統合ではなく、新たな中学校として開校したいと考えております。最後に、④の今後のスケジュールですが、7月に4地区で中学校統合に関する住民説明会を予定しております。ちなみに、13日（月）が宇久須地区、14日（火）が安良里地区、15日（水）が田子地区、17日（金）が仁科地区を予定しております。町といたしましては、本日の皆様からのご意見や地区説明会でのご意見を参考にさせていただき、町長と教育委員会委員との総合教育会議を経て、最終的に教育委員会定例会にて審議して結論を出したいと考えております。簡単ですが以上で説明とさせていただきます。

委員長 中学校統合に対する町の考え方を説明していただきました。質問はございますか。

委員 13日から説明会を開くという話でしたが、ほかの地区の説明会に行っても問題はないのですか。

委員長 問題はないと思います。事務局はいかがでしょう。

事務局 大丈夫です。

委員長 可能な範囲で、他地域の意見を吸収しながらより良い方向に進んでいけたらいいと思います。

事務局 アンケート等は取った方がいいでしょうか。

町当局 検討してみましよう。

委員長 先ほどのアンケートのご意見は、事務局は検討をするという対応をお願いします。他には何かございますでしょうか。

委員 田子で行った意見交換会は、複式学級の話が中心で、中学校の統合の話は無かった。そして複式学級ではなく統合の話になり、小学校の話からいきなり中学校の話になったので、町民は驚いていた。

町当局 この前の説明会は学校単位で行いました。次に行う説明会は地区を対象にします。また今言われたことは、説明しなければいけないと思っておりますので、説明したいと思っております。中学校の統合に限らない話ですが、学校の統合は、「町はひとつ」とい

う言葉を、理念に進めていきたいと思っております。合併した町は一つだと声を培っていかねばいけないのかと、ちょうど西伊豆中学校が統合する時に、私は議員でいました。さまざまな質問等をした中で、私も町も統合の理念は「町は一つ」ということで進めた経験があります。やはりこれは大事なことだと思います。その前に隣の松崎中学校、その時の賀茂中学校は統合しておりました。西伊豆町のみ統合していませんでしたので、まだ西伊豆町が一つになっていないと思いがりましたので、それはやらなければならないと思ひ、統合に望みました。今度は賀茂中学校と西伊豆中学校が一つになるということを、言葉ではなく、実際に進めていかねばならないと思っております。

委員 予定通りに進むと29年に統合するという話で、その統合の年代に該当する子どもたちは、不安に思っています。学校に通うのは子どもたち。統合するまでに、子ども達のケア等については考えていないのでしょうか。

町当局 部活動などの学校行事を通じて、一緒に交流するというを考えております。最初の活動としては、10月に各校の1年生を対象に観劇に行くことを考えております。このようなことを行って、子どもたちの不安を少しでも払拭できないかということで、そのあたりは学校の校長先生方とも調整を進めていきたいと思っております。

委員 交流するという事はいいのですが、不登校の子がどこの学校にもいると思うのですが、合併するにあたって増えてくるのではないかと思います。噂で申し訳ございませんが、西伊豆中学校の1年生の学習態度があまり良くないと聞きました。人が増えれば、そういうことになるということは分かっているのですが、賀茂小5、6年生、賀茂中1年生はそこまで強い子ばかりではないです。移転先が西伊豆中学校の場所なので、西伊豆中学校のことばかり聞きます。そのあたりはどのような対策をとっているのでしょうか。この噂は本当なのでしょうか。

委員 確かにお話にありました通り、1年生で授業態度が落ち着かない生徒はいます。しかしそれは一部であって、あたかも全体が落ち着かないような受け取り方をされて、その話が西伊豆中学校の1年生が悪いというように発展していくのですが、そうではなく、一部の生徒が悪いというだけで、多くの生徒は落ち着いて授業に取り組んでいると私は思っています。当然授業態度の悪い生徒には指導をしますし、複数教員による授業を行って、学習環境を整えています。今は安心してもらっても大丈夫だと思います。子ども達も成長しますので、今のままが2学期3学期、2年度まで続くと思っております。私は3年生のころには落ち着いた最上級生になってくれると思っております。どの学校にも多かれ少なかれ問題はありますので、統合したから解決するという事ではないのですが、解決する場合もありますし、新たな問題も生まれてくると思います。

委員 今日くるにあたって、知り合いの親から反対してきてくれと頼まれました。2年後だと、今の1年生が3年生ということで受験の時期にあたってきます。その時に統合して人間関係がうまくいかなくなってしまい、受験勉強どころではなくなると思う。そのあたりをうまく説得できることがあれば、保護者の皆さんにお願いしたいです。

委員長 今度の地区説明会でうまく解決できればと思います。事務局は何かありますでしょうか。

事務局 統合が決まれば、不安を払拭する形で進めたいと思っております。今話にありました3年生の受験の話になりますと、いずれはどこになっても同じような話が出てくるという状況になるものですので、どこかではっきりさせなければいけないことを御理解いただいて、何とか解決できる方法を事務局でも考えております。

委員 私は仁科中学校と田子中学校が統合する時に、仁科中学校にいました。最初は、仁科中学校は荒れていまして、田子中学校の保護者は統合したくないと言っていました。統合する前の年になりましたら、仁科中学校の方が落ち着き、反対に田子中学校の方が荒れていました。どこの学校が荒れているというのは動いていきますから、荒れているということを言ってしまったら、話はまとまってきません。また一緒になった時に、話し相手がいなかった子でも、新しい話し相手ができたといい子もいました。受験の話でも、今まではある程度順位が決まっていたが、統合したら今までは1番だった子もその順位を脅かされるので勉強をするということもありました。友達作りが大変になるという面がありますが、子ども達はなんとかしていける力があります。マイナス面を考えればいくらでも出てきます。プラス面に考えてもいくらでもできます。ならば当然学校は、生徒たちはプラスになるように生徒指導をしていくつもりです。

委員長 たくさん子ども達と一緒に学ぶことによって多様な社会性や、考え方が育まれていくというプラス面を大きくしていきたい。全校生徒が26人という学校にいたことでもあります。子どもたちの学びあうというところに、様々な工夫を凝らしてみましたが限界がありました。子ども達がプラス思考の中で地域や親や先生方が支えていくのにはいい機会だと思いながら意見を聞いていました。このほかに意見はありますでしょうか。それでは次に、(4) 中学校以外の統合について事務局より説明願います。

事務局 中学校以外の幼稚園、保育園、小学校の統合につきましては、早期の統合要望もありますので、中学校統合が決定しましたら、今までの協議結果を踏まえた中で具体的な検討協議に入りたいと考えております。

委員長 そのほかに要望などありませんでしょうか。

町当局 産まれてくる子どもの推移を見ますと、一昨年が21人、去年が31人。また今年度が14人くらいになりますかね。そうなりますと西伊豆町の子どもが産まれてくる人数というのが、25人前後で推定してもいいかと思います。今統合の話をしなかったとしても、その時には統合しなければいけないという話が出てくると思います。今統合の議論をして、できなかったとしても、議論をしておけばその時に間に合うという思いがあります。そして今いじめ等の問題の話が出ましたが、そういう問題を出し合って、どうすれば解決できるかを議論して行って、解決できるのであれば、ひとつひとつ不安材料が消えていくということになります。心配ということはわかります。そういうのを学校側、PTA、父兄方そして町で話し合ってやっていかなければいけないという思いがあります。法改正により教育法が変わりまして、総合教育会議という当局も入る会議を持てるようになりました。今までは教育委員会が主体で学校教育を進めていましたが、これからはある程度行政も口を出せるということになっておりますので、今までとは違った教育行政が出来るのではないかと思いますので、今見たいなことは起きれば町に連絡をいただければ、町の方も対応しますし、教育委員会へと連絡をくだされば、教育委員会も対応します。不安材料がありましたら、統合を決める前に皆さん方に意見を聞いて、不安を解消したいと思っていますので、よろしく願います。

委員長 ほかに如何でしょうか。

委員 先ほどアンケートについて、検討するといっていました、実施するならば、アンケートの結果を重視してほしい。

町当局 ぜひこのような会議や、意見交換会に出てきてほしいです。紙ではなく、自分の言葉でどのように考えているのかを言っていただければ、町の方もそれを参考にします。

委員 先ほど出ました通り、夜の会合に出たくても出られない父兄の方が、相当数いるという話でしたが。

町当局 夜が無理ならば、ほかに都合のいい時間を言ってもらえれば、都合を確かめて調整したいと思います。このように意見を言ってもらえれば、それに対して答えを出して対応いたしますので、意見があれば出してもらって、それに対してどのような解決方法があるか皆様と話し合って解決していけばいいかと思います。今言ったように夜の会合が無理ならば、学校側の許可が取れば、PTAの会合等に私たちがお邪魔しまして、説明することは可能です。ですので、さまざまなやり方はあるかと思っておりますので、学校側と教育委員会、当局と話し合っていたいと思います。

委員長 貴重な意見ありがとうございました。我々が一番望んでいることは、子ども達が統合に関して十分な考えをもち、保護者がそれに対してご支援をしていく中で、この課

題が解決できればいいと思います。色々な意見の方法として、出席率が高く、様々な意見の出る場を工夫してもらおうよう、進めてほしいと思います。それと7月13日からの会合を有効に生かしてもらいたいと思います。

事務局 PTAの方としたら、住民説明会よりも、各学校の保護者説明会の方がいいというお考えなのですかね。

委員 大体そうだと思います。そのような場を設けてほしいと思います。前回の意見交換会の時は、父兄の方はあまり重く受け止めていなかったと思います。29年4月1日からという明確な日にちが出たならば、結構な人が来ると思われます。

事務局 事務局としても、PTAの方を重視して考えておりますので、より多く保護者のかたが出席できる形がいいかと思っております。ただ住民の方も参加できるということで、合同で考えていたわけですが、これとはまた別に行うとすると、期間的に取れるかどうかわからないのですが、また検討の方はさせていただきます。

委員長 今事務局からも出たと思いますが、7月13日からの地域説明会を実施して、その状況の中で、より具体的に学校サイドでの話が煮詰まればいいと思います。

町当局 時間を夜にしたのは、その方が出席してもらえるのに都合がいいのではないかと考えてやったわけなので、昼間がいいというのであれば、昼間にやるのもいいです。委員の方々が、他地区の会合へと行くのはいいのですが、他地区での意見は控えてください。意見があるならば、この場で言ってください。

事務局 今後の方向性を決めるにあたって、この後住民説明会等を開催するのですが、この会の皆さんの意見も十分踏まえた中での町としての判断になると思います。ですので、思いがあれば積極的に発言をしていただいて、町長の判断材料にさせていただきたいと思います。なかなかこのような機会も、決定までにどれだけ開けるかわかりませんので、今考えていることがあれば、ご発言をしていただければと思います。

委員長 せっかくですので、意見があれば端からお願いします。

委員 いろいろなご意見があると思います。先ほど田子小の校長先生が言った通り、教育関係に携わってきた人はさまざまな経験をしていると思いますので、校長先生方はかなり詳しいと思いますので、参考にされたほうがいいのかと思います。アンケートもいい悪いは判断できませんが、良かったら行ってもらいたいです。重視ではなく参考程度にってもらう程度の考えでいいかと思います。

委員 個人的な考えですが、学校は生徒数が多い方がいいのではないかと思う。実際自分

が歩んできた中で、初対面の人に交わってうまくやっついていけないのですから、そういう面から考えると知らない子たちがうまくやっついていけば、将来的にいいと思う。あまりマイナスに考えないでいいと思う。

委員 自分の上の子どもが6年生なのですが、この数字を見る限りでは進めてもいいのではないかと思います。個人的には賛成です。

委員 今回初めて会議に出たのですが、今の段階では具体的な意見を出したくない。もっと意見を聞いたり、保育園のPTAの方の意見を聞いたりして、判断材料をつくってから意見を述べたいと思います。

委員 一番上の子が、賀茂中1年生です。合併自体はやってもいいのではないかと思いますのですが、校舎は場所的に出来るだけ宇久須と仁科の中間点に起きてもらいたい。

委員 去年からいますので、去年の時も言いましたが、子どもがたくさんいて切磋琢磨した方が、勉強的にもスポーツ的にもいいのではないかと思います。私個人ではいいのではないかなと思います。早い段階でやった方がいいのではないかと思います。

委員 合併したいかしたくないかで言いましたら、合併したい方をお願いします。ただ町長を始め、皆様に集まっていただくには期間をかけなければ無理かと思えます。積み重ねが統合へとつながっていくと思えます。また校舎の話になりますと、安良里地区、宇久須地区の方は不安を抱えている状態なのかと思えますので、そのところを少しでも解決しながら、統合できればいいとおもっておりますので、よろしくをお願いします。

委員 私も中学校の統合に関しては賛成です。ただ賀茂小学校の会長が言った通り、当事者の子どもが考えることは大切だと思います。また地区説明会開かれまして、意見を少しでもくみ上げて、いい統合を目指してもらいたいです。

委員長 どうでしょうか。ほかにご意見、要望等があれば伺いたいのですが。また様々な場面でご意見やご指導をいただくこともあると思いますが、色々な意見を反映した地区説明会を開いていただきたいと思えます。

事務局 先ほど今後のスケジュールについてご説明をしましたが、この会の持ち方なのですが、一度説明会を開いた後にもう一度、この会を開かせていただきたいと考えております。今回皆さんの意見をいただけたということで、特にあとは地区説明会の意見だけでいいというのであれば、そのあとの総合教育会議、それから教育委員会定例会等で方針について決定をさせていただきたいというように考えていますが、どうでしょうか。

委員長 今の事務局提案について如何でしょうか。

委員 次回は大体いつくらいになるのでしょうか。

事務局 説明会が来月の13日の週に開催をして終わりますので、その説明会を経てということであれば、そのあとすぐという形になります。大体中旬以降となるかと思えます。PTAの日中の説明会の開催となると少しずれこむかと思いますが、県のほうの統合の決定の期間というものがありますので、なるべく早く統合するかどうかの結論を出したいと思っております。できれば来月中には、最終的な方向性を出したいと思っておりますが、保護者の方の説明会、アンケート等を開催するともう少しずれ込むかと思えます。

委員長 事務局からの説明にもありましたが、そのような過程が終わったらもう一度このような場を持つということでもいいでしょうか。

町当局 みなさんにこのように集まっていたいで話し合うのは、忙しい方もいらっしゃると思うので、これから委員長を通じて、このようにしたいという意見を、ある程度話を進めてもいいですか。やるべきことはやりたいと思います。今最低計画している住民説明会はやります。先ほどあったアンケートの話は、その代わりにPTAとの話し合い等につきましては、委員長と学校側と話をしていきたいと思います。今事務局から話がありました通り、時期的なものもあります。その許可を完全にとらなければできないというわけではありませんので、平行にやっていきたいと思もあります。やるのであれば間に合わないと思いますが、私は冒頭でお伝えしました通り、賀茂中学校の1学年7人というのがとても深刻に受け止めております。学校の先生方は1学年が7人という数字は深刻に考えた方が良いのか、気楽に7人でも大丈夫という考えもあるのか、参考意見として聞きたいと思えます。

委員 1学年7人ということのメリットを考えてみたのですが、運動量が確保できます。そして人数が少ないので、集合する時に早くできることもそれもメリットの1つだと思います。子ども達は人数が少ないことをとてもネガティブに言われていますので、私は逆にポジティブに言ってあげるようにしています。ただ将来的なことを考えますと、この子たちは7人のなかでいいのかという思いはありますが、あまりにも7人しかいないということを言われ続けているので、将来的には人数が多ければそれに越したことはないかなと思えます。

町当局 町として学校の中に1学年が7人という学年を維持していくのが良いのかと考えていかなければいけないと思えます。子ども達に対して何かを言わなければいけないというつもりはありません。ただ教育ということ考えたときに、それが果たしていい

のかと思うときがあります。

町当局 今の点ですが、文部科学省も1月に手引きを出してしまして、小学校につきましては、少なくとも複式学級を避けるとすると1学年1学級以上。中学校につきましては、2クラス以上必要だといわれております。1学年2クラス以上となると41人以上必要となり、学校全体は120人となります。この人数が中学校の基本的な考え方になります。浜松市も117人以下のところは統合対象として切っていますが、実際120人という中で、賀茂中学校は再来年47人となりますから、通常の規模だけ考えると、一般論で言えばかなり少ないと言ってもいいと思います。これは適正な学校の集団活動をする規模とは言えないと、客観的な事実としてお伝えしたいと思います。

委員長 特にその他意見、要望等が無いようでしたら、閉会しようと思います。

事務局 それでは長時間にわたる審議をありがとうございます。最後に閉会の挨拶を鈴木副委員長にお願いしたいと思います。それではお願いします。

委員長 また次回も意見を持ち寄ってより良い会議にできたらいいなと思います。お疲れ様でした。

以上